

ホットケーキのホットとけい

(上映時間 約20分)

作・香城由里

● 登場人物

ホットケーキ(ホットケーキの時計)

たつや

たつやのお母さん

時計屋のおじさん

ネズミ

ネコ

ウマ

ナレーター

● あらすじ

たつやの大好物、ホットケーキは、いつもたつやのお母さんにフライパンで焼かれ、たつやに食べられてしまいます。「そんな運命はもういやだ。他の世界に行けば、もっと楽しいことがあるはずだ」と思ったホットケーキは、ある日、焼かれる途中で、フライパンから「コロコロ転がり落ちました。風に乗って家の外に出てみたが、待ち受けていたのは、おなかをすかせた動物たちでした。

ホットケーキは食べられないようにマンホールのフタやタイヤ、満月のふりをします。それを見ていたとけいやのおじさんはホットケーキの見事な変わり身に感心して、お店のかべかけ時計になってみないかとスカウトします。時計になれば、人間や動物たちにも食べられなくてすむ。そこで、ホットケーキは時計になろうと決心しました。

お店の売り物として、かべかけ時計になったのは良かったが、時計を買いに来たのは、何と、たつやとたつやのお母さんだったのです！ホットケーキはまたたつやの家に戻ることに躊躇したけれど、とけいやのおじさんに勇気づけられて、かべかけ時計として、たつやの時間を見守る役としてがんばろうと思つたのでした。

● 作者より

パンやたいやきが人間から逃げ出す話はあるけれど、それが他のものに生まれ変わって、別の人生を歩んでいたとしたらどうだろう？ とりわけ、子供たちにも人気のあるホットケーキが、その丸くてふっくらした形を生かして、かべかけ時計になり、家族を見守る存在になったらどうだろう？

そんなユーモアのある発想から、このお芝居を考えました。ちょっとナンセンスだけど面白いお話を演じながら、お子様に楽しんでいただければ嬉しく思います。

ナレーター

たつやくくんはホットケーキが大好き。
たつやくくんの家では、おやつの時間になると、
お母さんがホットケーキを焼いてくれます。

たつや

お母さん！ 今日もホットケーキ、お願い！

お母さん

はいはい、たつちゃん。今作るからね。

たつや

やったあ！

ナレーター

お母さんは小麦粉、タマゴ、牛乳、砂糖を混ぜ合わせ、
フライパンでホットケーキを焼きはじめました。

たつや

わあ、いいにおい。おいしそう！

ナレーター

ホットケーキがきつね色に焼けていきます。すると…。

ホットケーキ

あーあ。僕はたつやくんに食べられるのか…。
つままないな。もつと他に楽しいことはないのかな？

ナレーター

ホットケーキがフライパンの中でグチっています。

お母さん

あら、何だか変な音が聞こえる。おかしいわ…。

ホットケーキ

もうこんな熱いフライパンにいたくないよ。外の世界を
見てみたい…。

よし、ここから出てみよう。えい！

ナレーター

そう言うと、ホットケーキがフライパンから転がり
落ちました。

お母さん

あつ！

たつや

あれ？

ナレーター

お母さんとたつやくくんは驚きました。

たつやは逃げたホットケーキを追いかけます。

ホットケーキはドアの方へコロコロ転がっていきます。

たつや

まて！僕のホットケーキ！

ホットケーキ

つかまつてたまるか！僕のことほつとけ！

ナレーター

ホットケーキはドアから外へ飛び出し、どんどん逃げて
いきます。たつやくくんは追いつけません。

ホットケーキだけに「ほつとけ！」がログセなのです。

たつや

そんな…ぼくのおやつが…わーん！わーん！

ナレーター

たつやくくんは悲しくなつて、泣き出してしまいました。
たつちゃん、泣かないで。また作つてあげるから。

お母さん

♪音楽(BGM)
お母さんIN

たつやIN

たつや、笑顔で喜ぶ

ホットケーキIN

お母さん、フライパンを持つ

ため息をついて渋い顔になる

首をかしげる

ホットケーキ、逃げ出す

走つて追いかける

あかんべえをする

手で顔を覆い、涙をふく
たつやに寄り添う